

	千葉大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	看護学部看護学科（第1年次：80名、第3年次：10名） 大学院看護学研究科看護学専攻：（M2：25名、D3：12名） 看護システム管理学専攻（M3：12名） 大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
沿革・設置目的	<p>昭和50年、看護に関する学術を教授研究し、知識及び技能を授け、併せて広い視野に立つ看護学の指導者を養成することを目的として、千葉大学看護学部看護学科が設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 千葉大学設置</p> <p>昭和50年（1975年） 千葉大学看護学部看護学科設置</p> <p>昭和54年（1979年） 大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）設置（平成5年（1993年）に博士後期課程設置）</p> <p>昭和57年（1982年） 看護学部附属看護実践研究指導センター設置（平成21年（2009年）大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センターに改称）</p> <p>平成14年（2002年） 大学院看護学研究科看護システム管理学専攻（修士課程）設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成22年（2010年） 大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センターが看護学教育研究共同利用拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 唯一の国立大学看護学部及び全国の看護学教育研究共同利用拠点として、社会の要請に応える先進的教育プログラムの開発及び人材育成を行い、我が国の看護学の発展を牽引する人材輩出の中核拠点としての役割を果たす。特に、看護学の学術的基盤の充実・発展に寄与する教育・研究者の育成、高度な問題解決力・新たな価値体系の創造力・指導力を備えた実践者及び管理者の育成、学際的かつ国際的に活動推進のできるグローバルリーダーの育成を行う。</p> <p>○ 医療系3学部（医学部・薬学部・看護学部）が附属病院との連携下で多年次積上型の教育プログラムとして開発し、先端的に実施してきた専門職連携教育（IPE）や連携実践（IPW）を発展、進化させ、専門職連携学体系の構築と次世代対応型医療人育成を实践、普及させる。</p>

○ 超高齢社会、グローバル社会の到来に対して、21世紀COEプログラムを契機に組織的に取り組んできた文化看護学の成果を分野横断的な取組みの基盤に置きながら、看護を取り巻く社会のニーズに対応した新たな教育プログラムの開発（専門職連携教育プログラム等）や新領域の研究（エンド・オブ・ライフケア看護学等）等を強化する。その成果を活かして、学内の部局間連携、医療機関等との連携、大学間連携を通して、看護教育・研究の向上を一層推進するとともに、国際的な発信・連携活動を強化する。